全調政連 ニュース　No. 2022-11

R4. 12. 7　　発行責任者　幹事長　佐々木 健

全国土地家屋調査士政治連盟ホームページ https://zenchoseiren.net

公明党

土地家屋調査士制度の改革・推進議員懇話会　総会

日　時　令和４年11月18日(金)10:30～

場　所　衆議院第１議員会館会議室



全国土地家屋調査士政治連盟から、椎名会長、佐々木幹事長、上田副会長が参加しました。今回は予算が審議される通常国会が開催される前に開催いたしました。

総会次第

一、高木会長挨拶

二、岡田連合会長挨拶

三、椎名全調政連会長挨拶

四、政策要望　説明　鈴木泰介連合会副会長

①登記所備え付け地図作成作業の促進と予算措置の確保

②表題部所有者不明土地の解消に向けた施策の推進及び予算措置の確保について

③筆界特定手続きに関する施策の予算措置の確保について

④狭あい道路解消に係わる予算の拡大及び国による統一的な制度基準の策定について

⑤公共嘱託登記土地家屋調査士協会の所有者不明土地等問題解消への活用について

⑥所有者不明土地問題に関する諸施策の円滑な実施について

⑦民法・不動産登記法改正による所有者不明土地発生予防及び新たな制度の周知広報について

⑧相続土地国庫帰属法の円滑な施行について

⑨地籍調査事業の促進及び予算措置について

⑩所有者探索を円滑に進めるための施策について

五、質疑応答

・狭あい道路対策について、自治体によって違うが、どこの自治体による、どのような形が制度として1番進んでいるか

・固定資産税納税情報の提供について

・所有者不明土地 対策について裁判所との連携の現状はどうか？

・相続登記の義務化・国庫帰属法について

・14条地図整備の筆界保全標は、実質境界標なのか？公証能力はあるのか？

・所有者不明土地問題に関しては司法書士と連携をとるようにして欲しい

参加された議員の皆様は地元の土地家屋調査士や市民の皆様の現場の声をたくさん聞いておられる方が多いらしく、実務的な内容の質疑応答が多かった印象です。今後もさらに公明党懇談会所属の議員の皆様との連携を深めて土地家屋調査士制度発展のために頑張ってまいります。

（文　副会長　上田尚彦）